

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日 令和4年10月11日

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	志木市役所	代表者名	香川武文
担当者部署	総合行政部	連絡先電話番号	048-473-1111
担当者役職	課長	担当者氏名	八木征利
住所	353-0002 埼玉県志木市中宗岡1-1-1		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	専門的な用語をできるだけ避け、デジタイゼーション止まりにならないよう、デジタル推進課で取り組むものではなく、全庁で取り組む行革のひとつであると説明していただきました。 また、他自治体で実施されている事例も一部ではありますが示さ、具体的にわかりやすい講義内容でした。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年10月4日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			9時30分	16時00分	90
			活動時間 (分)	300	
3-2. 派遣場所	会場名	志木市役所	最寄駅	志木駅	
	所在地	埼玉県志木市中宗岡1-1-1	最寄駅からの交通手段	路線バス (国際興業バス・東武バス)	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	部長級・課長級・主幹級	46 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	現在、自治体DXについての取り組みを始めているが、職員の自治体DXに対する意識や関心が低く、デジタルを活用し、業務改善を行うことに抵抗感が生じているのが課題である。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体DXに取り組む必要性と、DXはDが目的でなくXがメインであるという考え方の認識を持ってもらう	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①DXの理解 (DXとは何か?・背景を知る (2040年問題)・忘れてはいけない「地域共生社会」) ②自分事としてのDX (総合計画にデジタルで貢献できること) ③DXの進め方 (DXが進む考え方・他市の取り組み事例から) ④まとめ (DX時代 政策をつないで考える)	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<p>以上により、管理職等に対し、自治体DXに取組む必要性を説いてもらった。 自治体DXに取組む必要性と理解が図られた。</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<p>①今回対象になっていない職員に対する、自治体DXへ取組む必要性を理解してもらうためにも、研修を重ねていくことが必要。 ②具体的な取組みをどのように進めていくのが課題である。</p>	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケート結果によると、ある程度自治体DXについて理解を得て、必要性を感じているが、どう取り組んで良いかわからないとの結果が多かった。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	自治体DXを全庁的に理解させ、各所属でBPRなどを実施し、全庁一丸となり、自治体DXへの取り組みを進める。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



